

目次

日中共同研究者一覧

第1章 令和6年度 知的財産保護包括協力推進事業の概要	1
第1節 事業の背景と目的	2
第2節 事業の概要	4
第3節 研究者会議、意見交換の概要	6
第2章 国際的な事業活動における 権利保護の在り方（並行輸入の違法性の検討を含めて）	19
第1節 研究内容の要約	20
第2節 中国における国際的な事業活動中の権利保護の在り方	22
I. 国際的な商業活動における専利製品の並行輸入の違法性に関する検討	22
北京大学 粵港澳大湾区知識産権発展研究院 張 平 教授	
II. 商標並行輸入の理論分析と法的規制	34
中南財經政法大学 知識産権研究センター 彭 学龍 教授	
III. 中国における専利権消尽原則の適用に係る司法実践及び改善提案	56
国家知識産権局 知識産権発展研究センター 顧 昕 首席研究員	
第3節 日本における国際事業活動中の権利保護の在り方	66
I. 並行輸入と商標権	66
東京大学大学院法学政治学研究科 田村 善之 教授	
II. サプライチェーンにおける特許権の消尽と、消尽事例における位置づけ	86
筑波大学大学院ビジネスサイエンス系 潮海 久雄 教授	
III. 特許権者による消尽の迂回の可否	96
神戸大学大学院法学研究科 前田 健 教授	
第3章 商標法（及び意匠法）からみた 不正競争防止法の保護領域	119
第1節 研究内容の要約	120
第2節 中国の商標法・意匠法と反不正競争法	122
I. ビジュアルコンポーネントの知的財産権競合問題の研究	122
中南財經政法大学 知識産権研究センター 吳 漢東 教授	
II. 悪意の抜け駆け登録及び関連する悪意訴訟の商標法規制ルートの整備	
－反不正競争法の適用との関係の検討を兼ねて－	146
中国社会科学院 知識産権センター 管 育鷹 教授	
III. 商標法と反不正競争法における同一標識で主体が異なる場合の調整	
－一日中の比較を視座として－	166
中国社会科学院 知識産権研究センター 張 鵬 専任研究員	

第3節 日本の商標法・意匠法と不正競争防止法	182
I. 不正競争防止法の保護領域——産業財産権法・不法行為法との関係を中心に	182
神戸大学大学院法学研究科 島並 良 教授	
II. 日本の不正競争訴訟における登録商標使用の抗弁	184
立命館大学法学部 宮脇 正晴 教授	
III. 商品形態模倣規制と意匠法	196
大阪大学大学院法学研究科 青木 大也 准教授	

本報告書の中国側研究者の報告書は、一般財団法人知的財産研究教育財団 知的財産研究所が翻訳を担当した。なお、文中の訳注は[]で表記している。

本報告書は、一般財団法人知的財産研究教育財団 知的財産研究所 中西聡 研究部長、井手李咲 主任研究員、西村素夫 主任研究員、米川絃輔 主任研究員、坂治深雪 補助研究員、天童史子 補助研究員が担当した。